



中央会事業より

来店客を増やすWeb活用術を学ぶ (組合活力向上事業)

近年、化粧品を取り扱うドラッグストアや量販店、ネット通販の台頭により、地域の化粧品専門店ではシェアを徐々に奪われるなど苦戦を強いられており、若い世代を中心とした新規顧客やリピーターの獲得が課題となっています。

こうしたなか、秋田県化粧品小売協同組合(長谷川竜彦理事長)は、組合活力向上事業を活用し、来店客数の増加を目的とした化粧品販売店検索サイト「キレイエ」への効果的な掲載手法を学ぶため、同サイトを運営する株式会社フォースタガード(東京都)の取締役最高執行責任者である安倉秀人氏を講師に招いた研修会を9月6日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において開催しました。

安倉氏は「基本情報を掲載するだけでは来店客の獲得には繋がらない。店内写真やサービスを行う様子を掲載するほか、おすすめメイクや美容テクニックなどをプロ目線から投稿することが有効である」と強調し、アクセス数を伸ばしている他県の事例などを紹介しました。

参加した組合員は「来店客に対してアプリ登録を薦めながら、鮮度の高い情報を届けられるよう心掛けていきたい。商品情報以外の掲載なども含め、個店の魅力アップに繋がりたい」と話しました。

長谷川理事長は「キレイエへの掲載が店舗情報に留まっている組合員もまだ多い。本研修会を契機に、新規顧客の獲得に向けた情報発信に積極的に取り組んで欲しい」と今後の組合員の取組について期待を込めています。



「キレイエ」への掲載方法を確認する組合員

基盤顧客の流出防止に向けて (青年部研究会事業)

県内の中小自動車整備工場においては、大手チェーンや異業種の参入、新車ディーラーによる囲い込み等を背景に入庫台数の減少や価格競争の激化が進んでいることに加え、県内人口の減少や高齢者の免許返納による保有台数の減少などから、収益の確保は今後さらに難しくなることが予想されています。

そこで、県北自動車整備協業組合青年部(佐藤貴幸部長)では、顧客の流出防止と収益性向上策について学ぶため、株式会社カービジネス研究所(東京都)の關友信マネージャーを講師に招いた研修会を9月14日(金)、大館市の組合会議室において開催しました。

關氏は、「新車ディーラーによる強力な囲い込みは一層進むことが予想されるため、中小の自動車整備工場は、基盤顧客に対して残価設定クレジットの活用を含めた車販の強化が極めて有効である。車両点検などのメンテナンスをパックにした『アプローチ体系の構築』により、入庫率と満足度を高める取組を徹底することで、基盤顧客の流出を防げるのではないか」と話しました。

参加した青年部員は「10年先を見据えたとき、新規顧客の獲得だけでなく、基盤顧客の流出を防止する取組がいかに大切であるかを知ることができた。自社においても車販事業について早急に検討したい」と話すなど、今後の事業運営において大いに参考となった様子でした。

組合青年部では、次回研修会において、他県の自動車整備工場における成功事例を学びながら、収益性向上に向けた具体的な取組について検討することとしています。



講師と積極的に意見交換する青年部員

ご当地グルメの販路拡大を目指す (連携組織化促進事業)

美郷町にある「美郷づくし研究会(坂本浩之会長)」では、地元産の牛肉や野菜など厳選した素材を贅沢に使用した「美郷まんま」の普及拡大に力を入れています。イベントでの提供を通じたPR等により、美郷まんまの「素」となるレトルト商品の売上が徐々に伸びるなか、長期ビジョンをいまだ構築できていないことが研究会の課題でした。

そこで、連携組織化促進事業を活用し、現状分析と今後の方向性を探るために、食の付加価値化研究所(新潟県)の椎葉彰典所長を講師に招いた研修会を9月14日(金)、美郷町の美郷町中央行政センター会議室において開催しました。



[研修会の様子]

椎葉氏は、美郷まんまについて「具材のボリューム感の演出についてはまだ工夫が必要だが、美郷町の名水を商品コンセプトに組み込み、商品を磨き上げることで、成功する可能性は十分にある」と期待を込めると、参加者は「違った視点から考える大切さを教わりアイデアも頂いた。研究会でコラボ商品の開発にも取り組みながら、美郷町全体を盛り上げていきたい」と今後の活動に強い意欲を示していました。

研究会では、今後も会議を重ねながら、長期ビジョンの策定と販路拡大に向けた具体的な取組について検討していくこととしています。



[美郷まんま(左)と美郷ため中(右)]

秋晴れの空の下、自慢の腕を競い合う (第22回中小企業団体ゴルフ大会)

9月19日(水)、秋田市の秋田カントリー倶楽部において、第22回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。

大会当日は天候にも恵まれ、さわやかな秋晴れの空の下、会員組合の代表者ら44名が自慢の腕を競い合いました。

僅差でひしめき合う大接戦のなか、ネット69のスコアでプレーした秋田県稲庭うどん協同組合の佐藤正明理事長が3年ぶりの優勝を飾り、多くの協賛が集まった表彰式では、順位と名前が呼び上げられるたびに歓声が沸くなど大いに盛り上がりました。



[プレーする藤澤会長]



[優勝した佐藤理事長(左)と藤澤会長(右)]

[大会結果]

- 優勝 佐藤 正明 氏
(秋田県稲庭うどん協同組合)
- 準優勝 藤澤 正義 会長
(秋田県中小企業団体中央会)
- 第3位 佐々木 宏行 氏
(秋田県ハイヤー協同組合)
- BG賞 佐々木 宏行 氏 75
(秋田県ハイヤー協同組合)

新理事長紹介 役員改選により、下記の方が新理事長に選出されましたので、ご紹介します。

平鹿青果冷蔵協同組合（横手市）
理事長 鈴木 雅博さん

組合員名：株式会社鈴木青果問屋
役 職：代表取締役
改 選 日：平成30年8月14日

－会員組合の皆様へ－

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。

今後、新しい理事長が選出された場合は、本会総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせ下さい。

■広がる災害協定の『輪』～能代市と災害協定を締結～

能代山本生コンクリート協同組合(佐々木鉄美理事長)では、大火などの災害時に市からの要請により、組合員企業が所有するコンクリートミキサー車で指定場所に水を運搬する「災害時における消防用水等の確保に関する協定」を能代市と8月31日に締結しました。県内の生コンクリート組合と自治体がこうした協定を結ぶのは3例目となり、災害協定の輪が広がりを見せています。

調印式で能代市の齊藤滋宣市長は「能代には古い木造住宅もあり、風も強い。諸条件で消防用水の不足も考えられることから、組合の皆さんの力を借りて消防用水を確保できることは力強い」と感謝の意を示し、佐々木理事長は「火災が発生して消防用水が不足したとき、それを補うためにミキサー車で水を運搬する

ことで市民を守ることができると思い、取り組むこととした。協定締結を機に訓練にも参加し、消火するために効率的に水を供給できるようにしたい」と話しています。



〔協定を交わす佐々木理事長(左)と齊藤市長(右)〕

■北秋田市で総合防災訓練が実施される ～地域の組合が共同参加～

9月2日(日)、北秋田市全域において県総合防災訓練が行われ、地域住民をはじめ指定行政機関、警察、自衛隊、指定公共機関など84団体から約1,600人が参加し、洪水想定避難行動訓練や避難所開設運営訓練など14種類の訓練が実施されました。

このなかで、秋田県葬祭業協同組合(半田雅之理事長)は、震災により死亡した市民を受け入れる「遺体安置所開設運営訓練」に参加し、遺体が搬送されてから納棺までの一連の行動を確認するとともに遺族対応訓練を行いました。

訓練に参加した半田理事長は「災害で亡くなられたご遺体を想定し、検死後に納棺し、搬送車でご自宅及び火葬場へお送りする訓練ができた。今年は自然災害が多く、万が一の時のために葬祭業者としての役割を再認識し、

ご遺体の尊厳やご遺族への配慮を念頭に、有事の際には万全な体制で対応できることを目指したい」と話しており、組合では、今後も緊急災害時における支援体制の整備・維持に努めていくこととしています。



〔納棺の訓練〕

■組合員企業の旬なニュースをご紹介します！

本の外装の美しさやデザインなどを審査する「第52回造本装幀コンクール」において、秋田県印刷工業組合の組合員である秋田活版印刷株式会社(島山紀夫社長)が手掛けた「村上善男一玄々とした精神の深みに」が最優秀賞にあたる経済産業大臣賞を受賞しました。



[表彰状]

コンクールには、業界を代表する大手印刷会社や出版社をはじめ、全国から325点が応募

されましたが、技術の高さと斬新さから「手掛けたくないほど手の込んだデザイン」と高い評価を受けた同社作品が初出品・初受賞という快挙を成し遂げ、来年2月にドイツで開催される「世界で最も美しい本コンクール」に日本代表作品として出品されます。

島山社長は「製本技術を全国の業界に証明できた」と社員一同喜んでいる。大手出版社には真似出来ない技術を強みとして、今後も良い作品を作り続けていきたい」と抱負を述べました。



[本の縁が黒く塗られた受賞作品]

インフォメーション

秋田県最低賃金が改定されました (秋田労働局賃金室からお知らせ)

平成30年10月1日から、最低賃金が引き上げられ、時間額「738円」→「762円」となります。

- ※ 最低賃金は、臨時、パート、アルバイト等、県内のすべての労働者に適用され、最低賃金額以上の賃金を支払わないと、最低賃金法違反となります。
- ※ 賃金は、精皆勤手当、家族手当、通勤手当、時間外手当、賞与等を除いた額が最低賃金額以上でなければなりません。
- ※ 月給や日給の場合、時間額に換算したものが最低賃金額以上でなければなりません。

〈問い合わせ先〉

秋田労働局賃金室(☎018-883-4266)又は最寄りの労働基準監督署までご照会ください。

経理関連業務の効率化に向けた説明会を開催します(全国銀行協会からお知らせ)

一般社団法人全国銀行協会では、今年12月から稼働を予定している「全銀EDIシステム」の活用に関する説明会を開催します。

「全銀EDIシステム」を利用すると、総合振込を行う際に、売掛金情報等の様々な情報を付加して送金を行うことができるようになり、売掛金の管理が効率化されるなど、中小企業者にとって事務負担の軽減が期待されます。

参加をご希望される方は、FAXまたはメールでの申込が必要となりますので、ホームページをご覧ください。

[秋田会場]

開催日：10月17日(水) 午後2時～

場 所：秋田商工会議所 ホール80

〈お問い合わせ先〉

一般社団法人全国銀行協会

☎03-6262-6672 <https://www.zenginkyo.or.jp/>

「確かな未来」が会社を変える。



で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい国の退職金制度です。

① 国の制度だから安全・安心!

さらに掛金の一部を国が助成します。

② 社外積立でラクラク管理!

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク!

節税に加え、手数料もかかりません。

● パートタイマーさんもお加入いただけます。

● 他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。

詳しくはホームページをご覧ください

中退共 検索

<http://chutaikyoo.taisyokukin.go.jp/>

ビジネスメール詐欺(BEC)にご注意(秋田県警察本部からお知らせ)

ビジネスメール詐欺とは、海外の取引先や自社の経営者層等になりすまして、偽の電子メールを送って入金を促す詐欺のことで、BEC(Business Email Compromise)とも呼ばれており、日本国内において、同種手口による高額な被害が確認されています。

被害を未然に防止するため、以下のことにご注意願います。



- ① 送金に関するメールを受信した際は、電話などメール以外の方法で事実確認する。
- ② メールを送信元メールアドレスを確認する。
(本来のメールアドレスによく似たメールアドレスに偽装されている場合があります)
- ③ 添付ファイルやリンク先を不用意に開かない。(ウイルスに感染するおそれがあります)
- ④ ウイルス対策ソフト、OSを最新の状態に更新する。
- ⑤ メールアカウントに複雑なパスワードを設定するなど、不正アクセス対策を徹底する。
- ⑥ 組織内で情報共有体制を整え、不審なメール等の情報を集約し、組織全体でのセキュリティを高める。

◆ インターネットのトラブルに巻き込まれるなどした場合は、
「サイバー犯罪相談電話」又は最寄りの警察署にご相談下さい。
サイバー犯罪相談電話：☎018-865-8110
E-mail：cyber110_akita@police.pref.akita.jp

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

総務企画課の齋藤です。会員の皆様にはいつもお世話になっております。過去には本会の会報発行に3度携わりましたが、昨年からは月次景況調査や四半期景況調査をはじめ、懇談会、経営トップセミナーを主に担当しております。

平成30年度も上半期が終わり、秋を実感する季節となりました。

さて、来年4月末日で平成の時代が終わりを告げます。今、振り返ると平成元年には消費税が導入されたのが思い出されます。当時3%だった税率が経過とともに来年10月には10%に引き上げられることから景気に及ぼす影響が心配でなりません。また、この30年間で動機不明の凄惨な事件も相次ぎ、自然災害も数多く、規模も大きく当たり前になっているように感じています。これは天変地異なのか人災なのでしょう。この後、「安心」、「安全」を願うばかりです。

現在はインターネット環境が当たり前となっていますが、インターネットの普及は

世界観を変えてしまいました。ノートパソコン、タブレット、スマホ、ワイヤレスなどの情報通信技術の進歩は昭和生まれのアナログ人間にとっては今でも大きな驚きです。デジタル化で飛躍的に情報収集能力も向上し、コミュニケーションの手段は電話だけでなくメール、ネットで多様な情報を得ることができ、ネットを通じ、買い物や遠くにいる人と取引できるようになっています。ライフスタイルが昭和の時代とは大きく変わってしまいました。

来年5月からは新しい元号となります。そう遠くはない時期に夢であった月旅行も可能とさせた人間の知恵と技術の進歩に大きな期待があります。

これからも会員の皆様、ご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。



[記 総務企画課 主幹 齋藤 典昭]